

## 川根本町の魅力を伝え外国人観光客を増やす

8年	藺田 莉瑠
	小田 凜夏
9年	高畑 采瑚
	湯口 蒼祐



多言語対応したパンフレットを作成し、台湾から川根本町を訪れた小学校へ配布したところ、町の魅力を伝えることができた。町でも、外国人向けのパンフレットを配布することを検討してはどうか。



現状、日本語・英語・中国語・韓国語のパンフレットを作成している。今後は、特に近年需要が高まっている「農業」や「食」の体験などを多言語でホームページ等に掲載し、来訪につなげたい。

## フェイジョアとぶどうを川根本町に広げよう

7年	山口 絢大
	柏 傑仁
	太田 早紀
8年	鈴木 涼太
9年	西郷 海斗



本町は耕作放棄地が増加傾向にある。耕作放棄地を活用し、新たな特産品として「フェイジョア」および「ぶどう」を栽培してはどうか。



新たに農産物を特産品としていくためには「気候気象条件に適しているか」「流通販売体制がつけられるか」を調査研究・確認する必要がある。町としても改めて調査をしたい。

## 川根本町の人に寸又峡の良さを伝えよう

8年	大畑 嬉依
	繪馬 菜陽
9年	中村 駿斗
	鈴木 俊哉



町を観光地としてさらに発展させるためには、地域の方が寸又峡の良さを知り、誇りを持ってもらうことが大切だと思った。町民へアンケートをとったところ、「寸又峡へ行ったことがない」という人が約50%だった。このアンケート結果について、どのような対応を考えているか。



アンケート結果で「寸又峡へ行ったことがない」という回答が多かったことを重く受け止めている。さまざまな媒体を使い情報発信をさらに強化し、町民にも寸又峡の魅力が伝わるようにする。



1月16日(金)、役場の議場で子ども議会が開催されました。三ツ星学園5グループの代表者は「総合的な学習」で学習・調査した成果を、本物の議会さながらに町長へ質問を行い、より良いまちづくりを提案しました。

議長役を務めた8年八木 彩伽さんと中村 優太さん

## 年齢問わず元気になれる機会を作る

7年	椎野 月
	高畑 心花咲
8年	前田 来音
	小倉 わかな
9年	中村 樹月



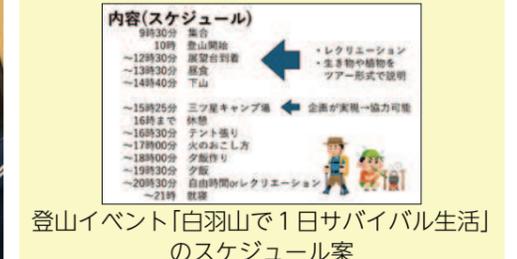
園児から高齢者まで世代を超えた町民と実際に交流し、このような活動をする中でみんなが元気になることを学んだ。さらに活動を広げるために、どのような活動をすればよいか。



例えば、町が行っている介護予防事業には、高齢者だけでなく誰でも参加できる取り組みがある。皆さんもそのような機会に積極的に参加してもらい、笑顔が広がる楽しい川根本町を一緒に作ってほしい。

## 川根本町の山の魅力を知ってもらおう

7年	古林 和暁
8年	中野 結菜
	中澤 美結
9年	澤本 真希



白羽山での登山イベントを計画した。1日目は白羽山に登り生物や植物について学び、2日目は三ツ星キャンプ場で過ごすプランである。本計画が実現可能であるか、また問題点はどこか教えてほしい。



関係機関との調整がよくできており、実現可能だと思う。登山や動植物、サバイバルのことに詳しいガイドが同行することで、安全性と学習効果がさらに高められる企画になると思う。